

蒲郡港開港60周年

# 海を埋める・ 海を拓く

ひら

令和8年7月18日[土]~8月30日[日]

休館日 ● 月曜日・第3火曜日 祝日は開館

開館時間 ● 10:00~17:00(入館は16:30まで)

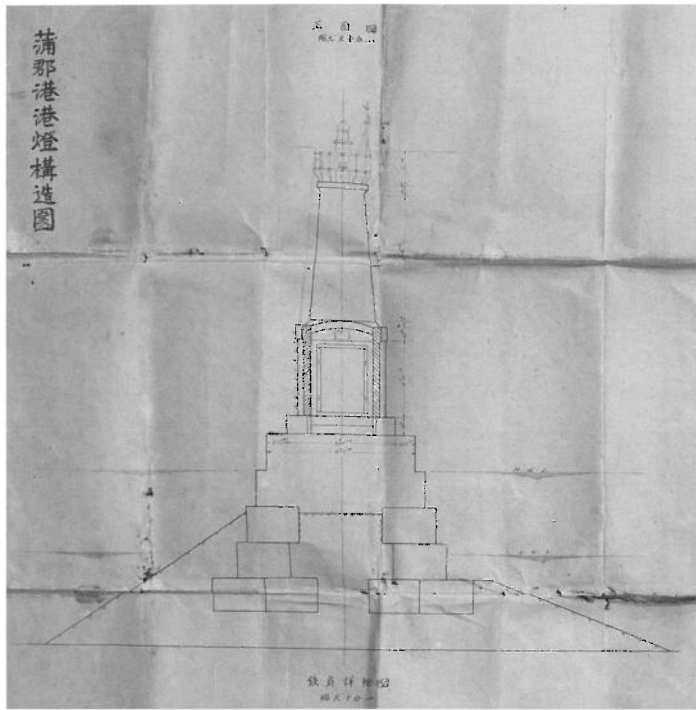
入場無料

蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町10番22号  
[蒲郡駅南口より徒歩10分 駐車場300台(市民会館と共用)]  
TEL(0533)68-1881 FAX(0533)68-1880 <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/museum/>

博物館HP





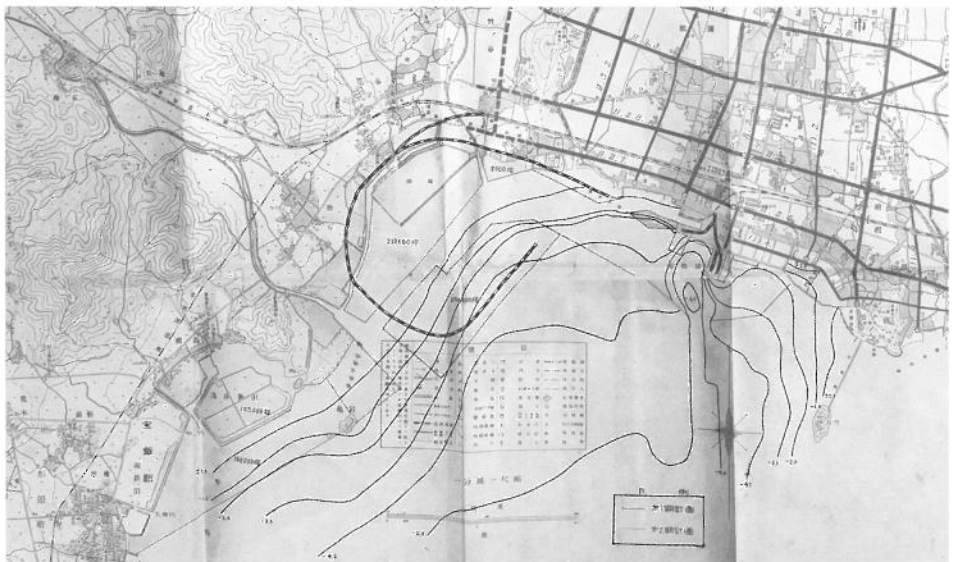
蒲郡港港燈構造図(部分) 昭和初期



蒲郡港開港式 昭和41年(1966)



中央埠頭にならぶ木材と自動車 昭和43年(1968)



「蒲郡港開発整備促進陳情書」付属図面(部分) 昭和31年(1956)

# 海を埋める・海を拓く

海岸線の長い蒲郡では、古くから海を埋め立てることで土地を増やし、様々な産業を発展させてきました。塩業、漁業、貿易の拠点から、スポーツ、アミューズメントまで。そして、その中心を担った場所が「港」でした。

昭和41年4月1日に蒲郡港が関税法に基づく開港指定を受けてから、今年で60周年を迎えます。開港とは、関税法第2条第1項第11号に「貨物の輸出及び輸入並びに外国貿易船の入港及び出港その他の事情を勘案して政令で定める港」と定義される税関用語です。昭和37年に豊橋港・田原港・西浦港とともに地方港湾「三河港」の港域指定を受け、翌々年には重要港湾に昇格していた蒲郡港は、開港指定後、国際貿易港として地域経済の発展に大きく寄与しました。平成9年に、港則法により田原港・豊橋港と併合されて特定港「三河港」となり、現在では三河港蒲郡地区、三河港大塚地区として、今後も更なる発展が期待されています。

今回の展示では、海岸線の発展の様子を埋め立ての視点からお伝えします。「埋める」ことで未来を「拓いた」、蒲郡の港のあゆみをぜひご覧ください。

期間中イベント

### ギャラリートーク | 令和8年8月1日(土)13:30~ 特別展示室

- 学芸員による展示解説を行います

### あいちやきもの歴史—2026 | 令和8年7月11日(土)~9月13日(日)

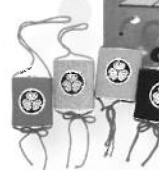
- 「動物のやさもの」をテーマに県内20館がイチ押し資料を展示します。● 蒲郡市博物館では、期間中に灯火具「ねずみたんけい」を展示!
- 回った館の数に応じて、3館賞、愛知のやさもの賞(6~7館)、パーフェクト賞(全館・多数の場合は抽選)を差し上げます!
- 館によって開催期間が異なる場合があります。詳しくは各館のウェブサイトをご参照ください。

### 夏休みワークスペース | 令和8年7月23日(土)~8月30日(日) 1階ギャラリー

- 厚紙を使って、オリジナルの刀、手裏剣、印籠(いんろう)、笥迫(はこせこ)を作ろう!

### なつかしのおもちゃ・レコード・まんがコーナー | 令和8年7月23日(土)~8月30日(日) 1階ギャラリー

- 昭和から平成初めに流行したおもちゃ、マンガ、レコードをお楽しみください。



令和8年7月18日[土]~8月30日[日]

休館日 ● 月曜日・第3火曜日 祝日は開館

開館時間 ● 10:00~17:00(入館は16:30まで)

入場無料

## 蒲郡市博物館

〒443-0035 愛知県蒲郡市栄町10番22号 TEL(0533)68-1881 FAX(0533)68-1880  
 [蒲郡駅南口より徒歩10分 駐車場300台(市民会館と共用)] <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/museum/>

博物館 HP



博物館 X

